

# がん患者の アピアランスケアに助成を

高松 幸雄議員



近隣の動向を見極めながら検討する

健康子ども部長

**問** アピアランスケアとは外見、身だしなみを整える行為を支援することを意味し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減する役目を果たしている。

**答** 県は、がん患者が医療用ウィッグや乳房補正具を購入する際に、費用の一部を補助する市町村に対して財政支援を始めた。補助制度を設けた市町村に住む患者は、かかった費用のうち半額（上限は2万円）の補助を受けられる。対象となるのは治療で脱毛した際に頭部につける医療用のウィッグと、乳房を切除した患者が装着する補正下着、補正パッド、人工乳房の購入費になるが、現在、助成している自治体はあるか。

**答** 県内では医療用ウィッグの購入助成を名古屋市と岡崎市が実施している。人工乳房の購入助成に関しては、実施している自治体はない。

**問** 近隣市町村の状況と、本市としての考えは。

**答** 津島市、稲沢市は助成を実施する予定。あま市、弥富市、大治町、蟹江町、飛島村は検討中。本市としても、近隣市町村の動向を見極めながら助成を検討していく。

**問** 市長の考えは。

**答** 当初予算に間に合わなかったため、数字的にどれぐらいの予算が必要であるか等を積算して検討していく。

**愛西市公立保育園はどうなるのか**

**問** 佐屋中央保育園の園舎修繕工事はどのような工事を行ったか。

**答** 乳児室の改修、トイレ改修、新たに敷地南西に出入口を設けて南側駐車場から園内へのスムーズな移動が可能となった。

**問** 佐屋北保育園の跡地の利用については何か決まっていることはあるか。

**答** 現在、庁内関係課で、どのようなスケジュールで進められるかを検討している。

**問** 永和保育園は民間移管するが、メリットは。

**答** 民間になると保育サービスが充実することや、保護者の選択肢を広げるメリットが大きい。



▲廃園になる佐屋北保育園